

実施日：10月10日	
領域：①教科（社会）、②道徳（特別の教科 道徳）、③特別活動、④総合的な学習の時間	
取組名：人権と共生社会 平等権②	
対象：3年生	実施場所：3年生社会科教室
<p>ア ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平等権にかかわる諸課題について既習知識をもとに共生社会をつくっていかうとする態度を育成する。 ・ 自分たちの学校に置き換えて考えることで、共生社会を築いていくために必要な取組や努力を多面的・多角的に考える ・ 自分たちの過ごしている学校が共生社会になっているか判断し、良い部分、課題を明らかにし、課題を解決しようとする実践力を育成する。 	
<p>イ 指導内容（指導略案）や取組の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書を用いて既習内容をふり返りながら家庭学習に取り組ませる。家族の意見も含めながら、より社会の実情を映した考えのもと人権課題がより身近なものであるという意識を涵養する。 ・ インクルージョンとバリアフリーについて基本的な考え方をおさえる。 ・ KPT 人権の諸課題に焦点を当て、自分たちが過ごす中学校がより共生社会となっていけるように、自分たちにできることの可能性を広げ、人権課題の解決に積極的に取り組もうとする態度を育む。 	
ウ 連携先：	
エ 連携にむけての取組	
<p>オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭の意見も含めることで、教科書の内容にとどまらない、より社会の実情を映した多面的な考え方ができる。 ・ グループワークで他者の意見に触れ、多角的にから共生社会の実現についての取組を考えられる。 ・ KPT 法を用いたワークシートにより、できていること（Keep）、課題（Problem）、すべきこと（Try）を明確化して発表することができる。 	
<p>カ 評価の方法</p> <p>ワークシート [別紙②]</p>	
<p>キ 成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近なところに平等権にかかわる諸課題が存在していることに気付けた生徒が多かった。そして生徒の多くが、身近なところに大きな変化を及ぼすことが大切だという新たな知見を獲得できた。 ・ 生徒会主導で学級討議を行い人権宣言 [別紙③] を制定した。 ・ 11月に行われた人権講演会では講演内容について積極的に質問したりするなど、人権課題に関する意識の高まりを感じた。 	
<p>ク 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業中の取組では活発な意見交流がみられ知識の獲得が図られたが、机上の空論に終わらせないよう、グループワークで出た意見をいかに行動に移していけるか、学校生活や家庭における実践力を養わせる仕掛けづくりが課題である。 	